

2023年度（2024年3月期） 第1四半期決算説明資料

2023年8月8日

H.U.グループホールディングス株式会社

（証券コード：4544）

-
- ※ 本資料では、記載している部分およびEBITDA(営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費)の数値を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。
 - ※ 「親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益」を「当期（四半期）純利益」と省略する場合があります。
 - ※ 数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。
 - ※ 各事業名等については以下のとおり省略する場合があります。

検査・関連サービス事業 : LTS (Lab Testing and its related Services)

臨床検査薬事業 : IVD (In Vitro Diagnostics)

ヘルスケア関連サービス事業 : HS (Healthcare-related Services)

- ※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

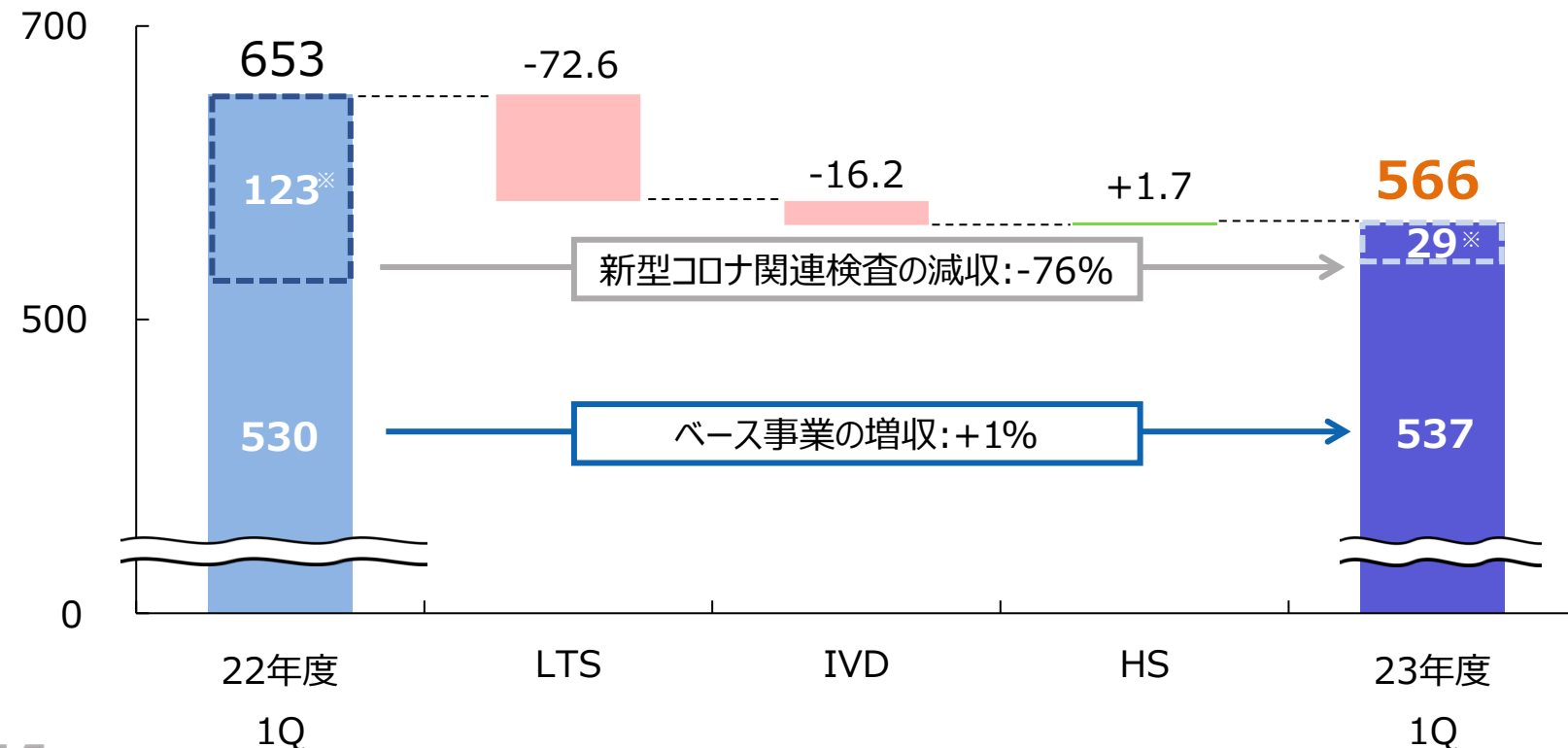
2022年度1Q : 1USD = 129.56 JPY 1EURO = 138.08 JPY

2023年度1Q : 1USD = 137.37 JPY 1EURO = 149.46 JPY

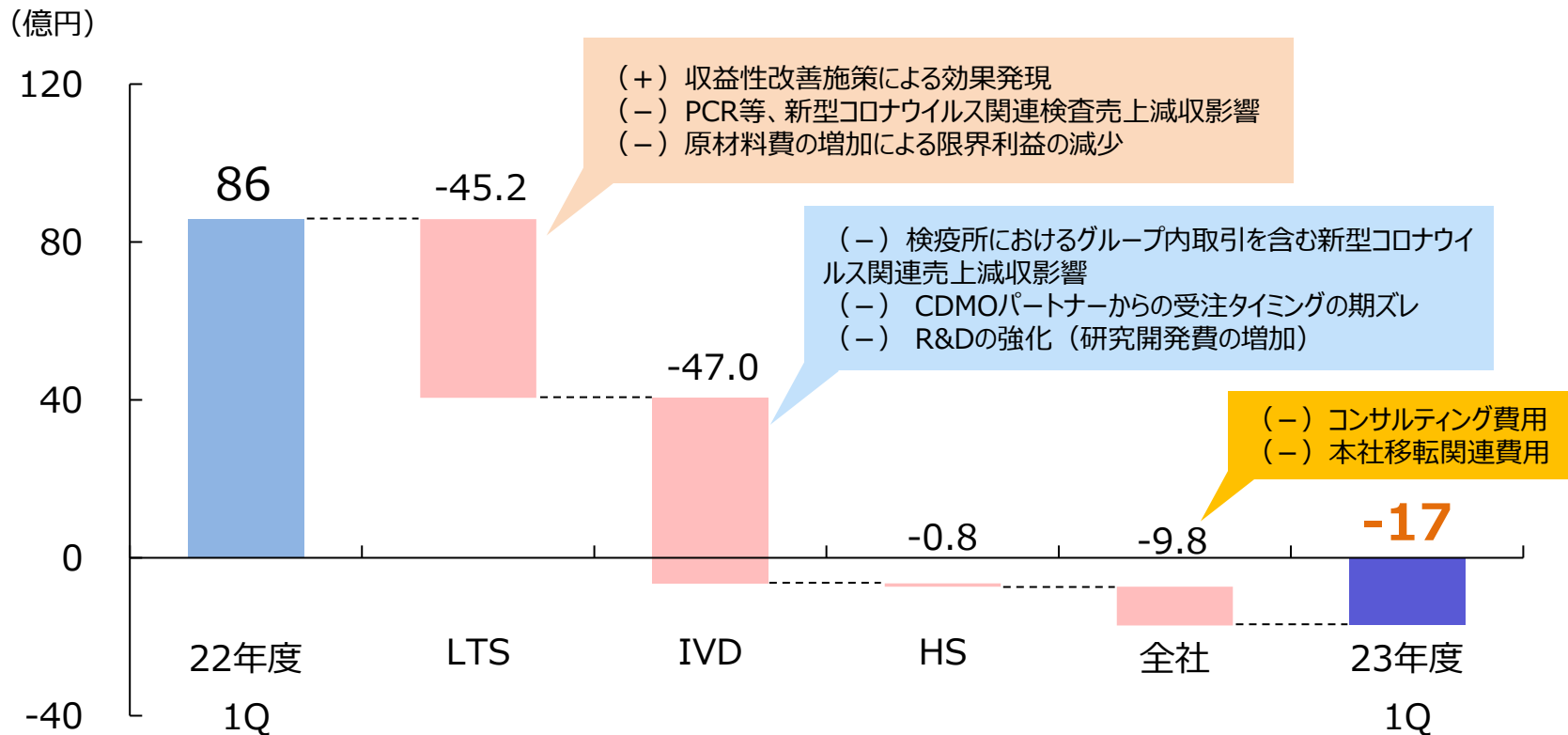
2023年度第1四半期業績概況

連結売上高（対前年同期比）

(億円)



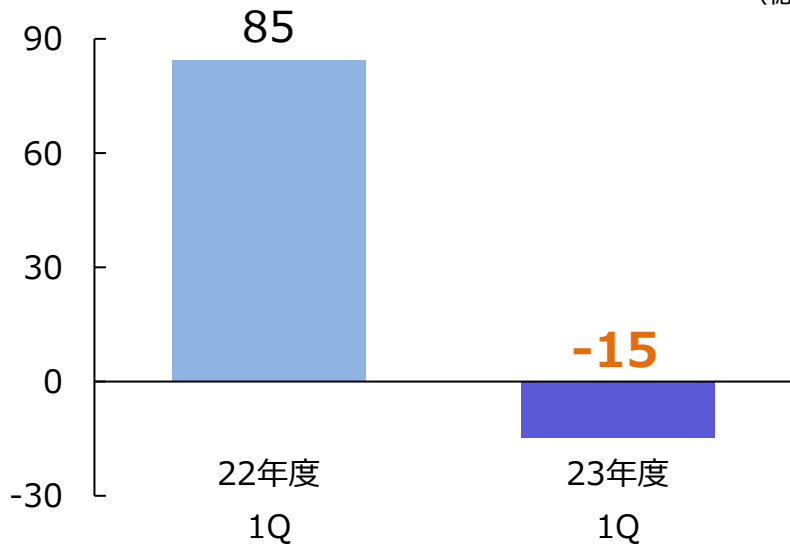
連結営業利益（対前年同期比）



連結経常利益/損失および四半期純利益/純損失

経常利益/損失

(億円)

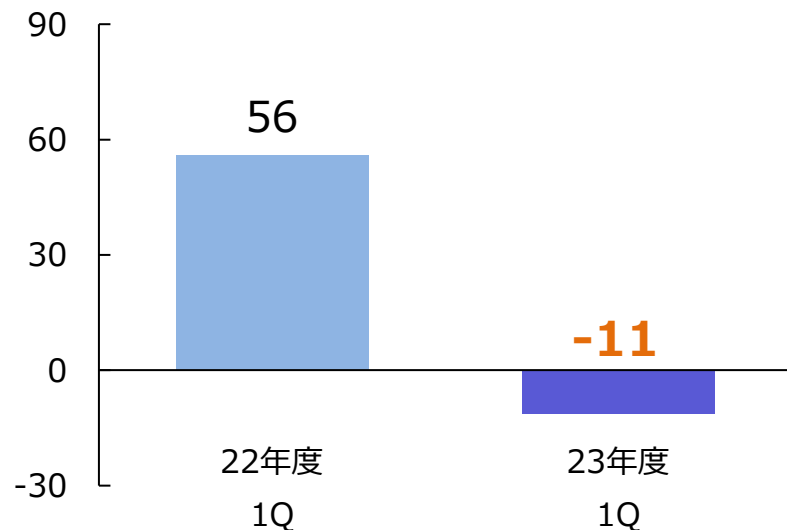


主な営業外損益

- 為替差益 +7.4億円
- 持分法による投資損失 ▲2.5億円

四半期純利益/純損失

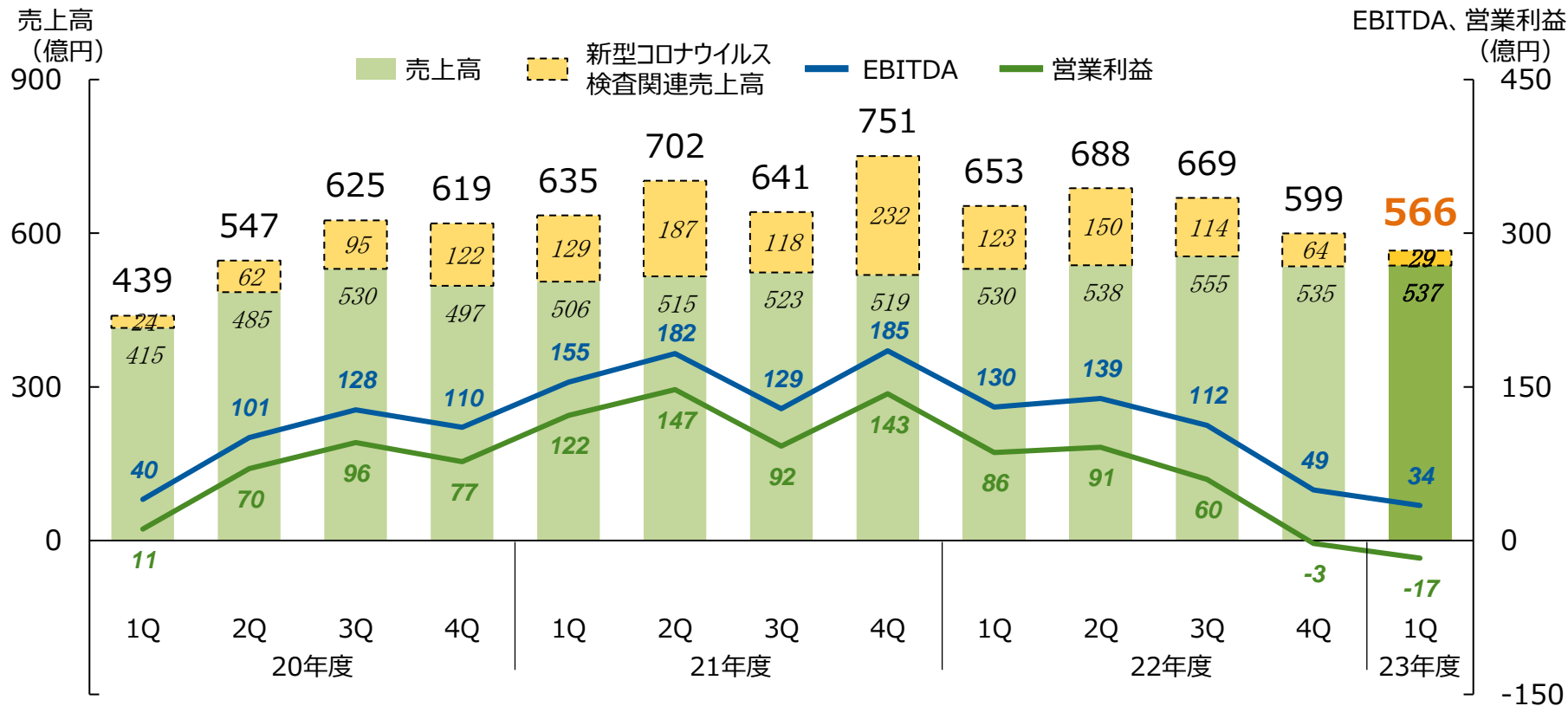
(億円)



主な特別損益

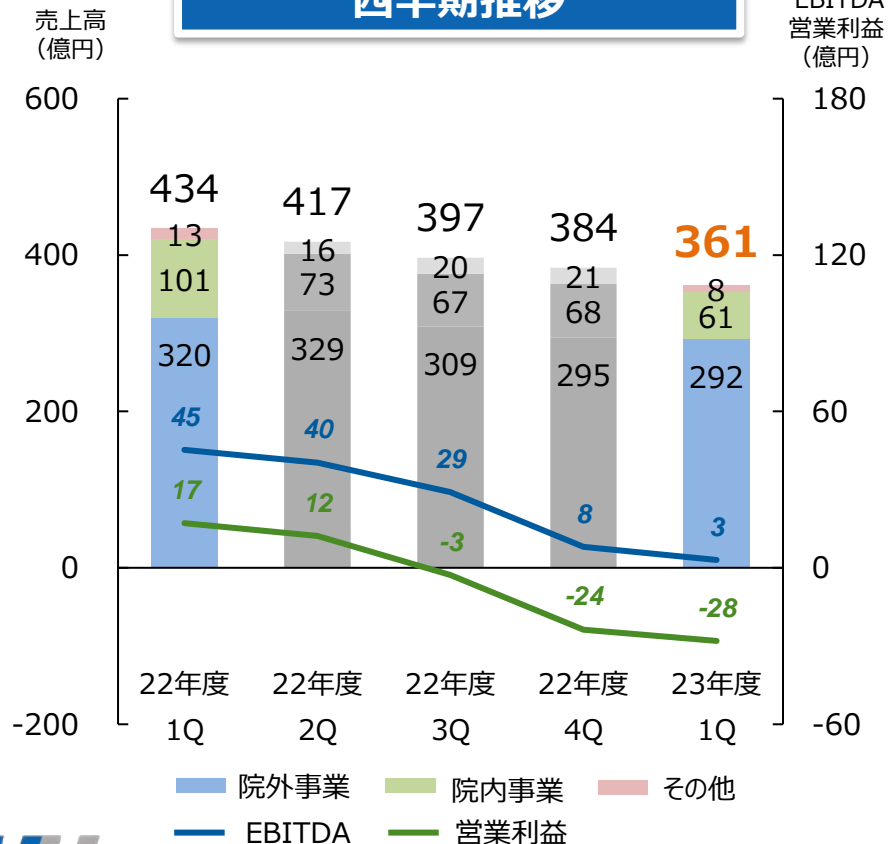
- 事業譲渡益 +3.8億円
(IVD事業における事業譲渡：RIA※)

四半期毎の業績推移



LTS事業

四半期推移



対前年同期比

(億円)

	22年度 1Q	23年度 1Q	対前年同期比 増減	
売上高	434	361	-72.6	-16.7%
院外事業	320	292	-27.7	-8.7%
院内事業	101	61	-39.8	-39.5%
その他	13	8	-5.1	-39.9%
EBITDA	45	3	-42.2	-93.4%
営業利益	17	-28	-45.2	-

売上高

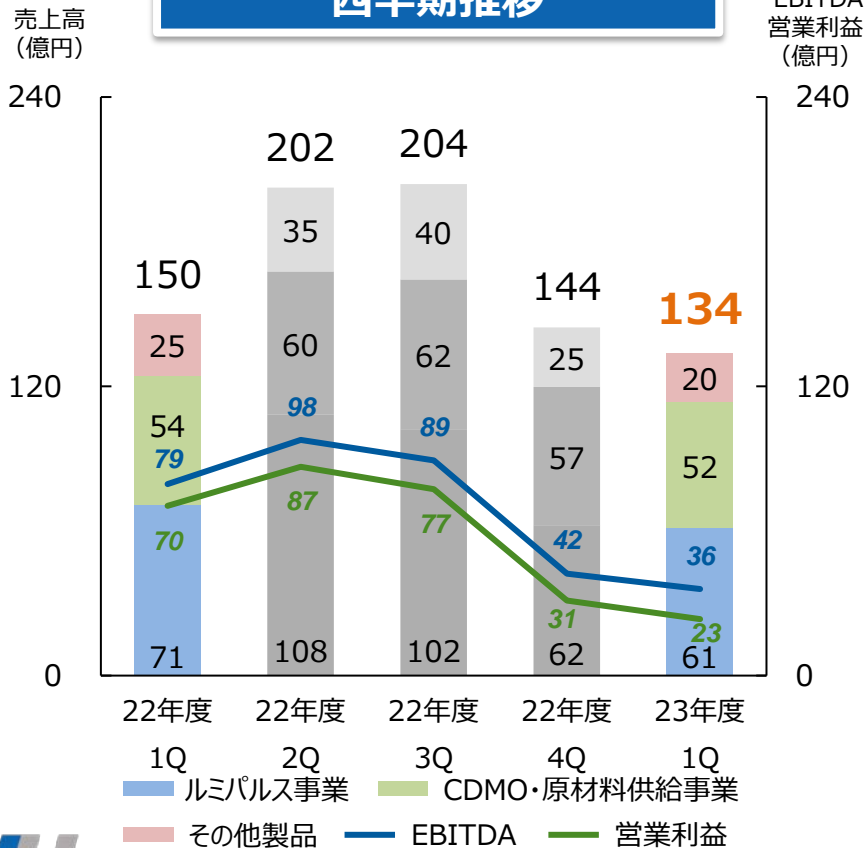
- 新型コロナウイルス関連：約12億円（前年同期：約88億円）
 ✓ 主にPCR検査、空港検疫所における抗原定量検査の減少
- 遺伝子関連検査の増加

営業利益

- 新型コロナウイルス関連検査の減少による減益

IVD事業

四半期推移



対前年同期比

(億円)

	22年度 1Q	23年度 1Q	対前年同期比 増減	
売上高	150	134	-16.2	-10.8%
ルミパルス	71	61	-9.6	-13.6%
国内	61	53	-7.7	-12.6%
海外	10	8	-1.9	-19.8%
CDMO・原材料	54	52	-1.5	-2.7%
その他	25	20	-5.1	-20.0%
EBITDA	79	36	-43.6	-54.9%
営業利益	70	23	-47.0	-66.8%

ルミパルス 内販売上高	25	11	-14.3	-56.2%
-------------	----	----	-------	--------

売上高

- 新型コロナウイルス関連：約18億円（前年同期：約35億円）
✓ エスプライン、国内・海外ルミパルスの減収
- 円安の影響もありベース事業は伸長

営業利益

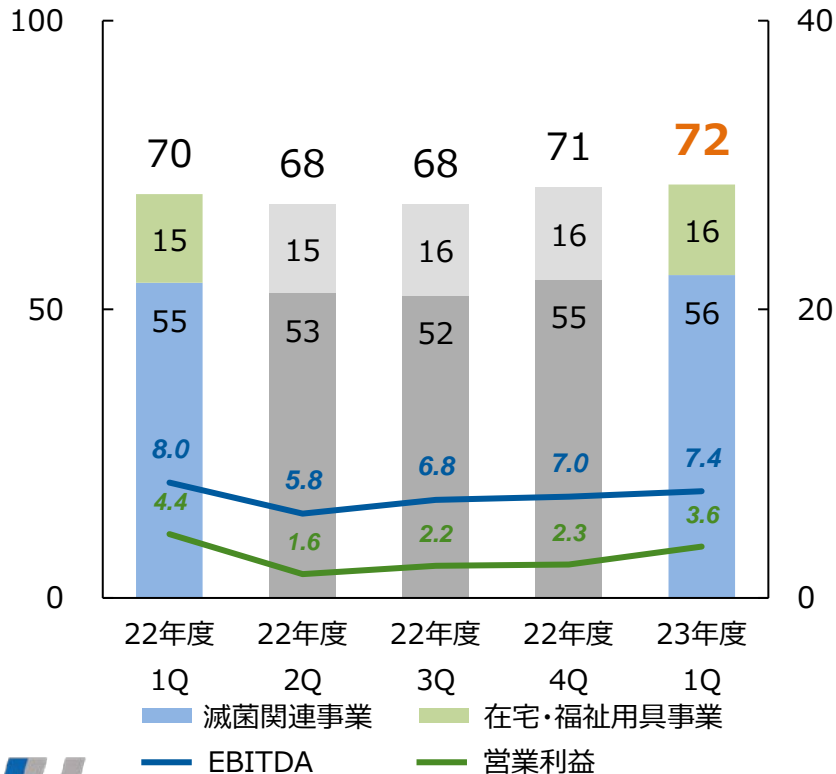
- 新型コロナウイルス関連売上高の減少にともない利益が減少
- R&Dの強化（研究開発費の増加）

為替影響（売上高：+4.2億円、営業利益：+0.5億円）

HS事業

四半期推移

売上高
(億円)



EBITDA
営業利益
(億円)

対前年同期比

(億円)

	22年度 1Q	23年度 1Q	対前年同期比 増減	
売上高	70	72	+1.7	+2.4%
滅菌関連	55	56	+1.4	+2.5%
在宅・福祉用具	15	16	+0.3	+2.0%
EBITDA	8.0	7.4	-0.6	-7.7%
営業利益	4.4	3.6	-0.8	-19.2%

売上高

- 滅菌関連事業、在宅・福祉用具事業ともに伸長

営業利益

- 人件費等の増加

連結業績（対前年同期比）

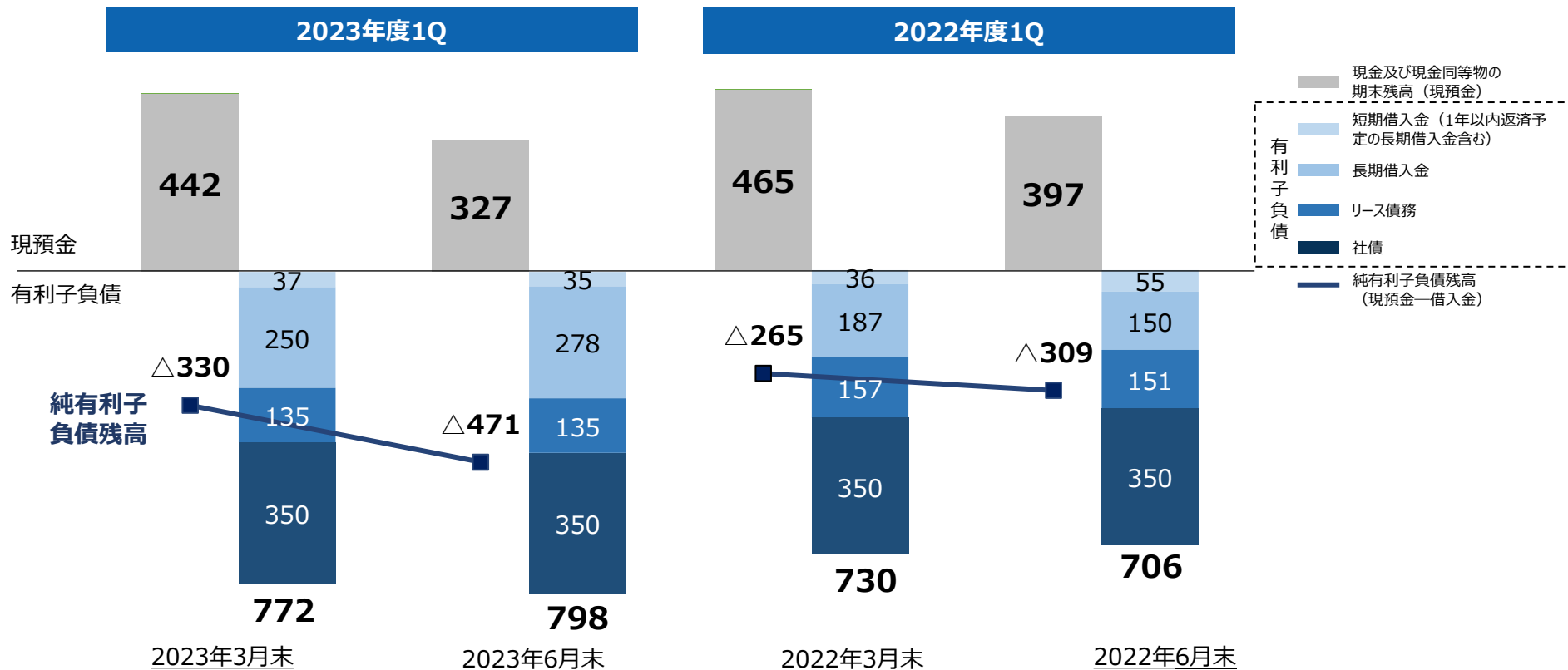
（億円）

	22年度 1Q		23年度 1Q		対前年同期比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減	
売上高	653		566		-87.1	-13.3%
LTS	434		361		-72.6	-16.7%
IVD	150		134		-16.2	-10.8%
HS	70		72		+1.7	+2.4%
営業利益 ※	86	13.1%	-17	-3.0%	-102.9	-
LTS	17	3.9%	-28	-7.8%	-45.2	-
IVD	70	47.0%	23	17.5%	-47.0	-66.8%
HS	4	6.3%	4	5.0%	-0.8	-19.2%
経常利益	85	12.9%	-15	-2.6%	-99.2	-
四半期純利益	56	8.6%	-11	-2.0%	-67.1	-
EBITDA	130	19.9%	34	6.0%	-96.1	-73.7%

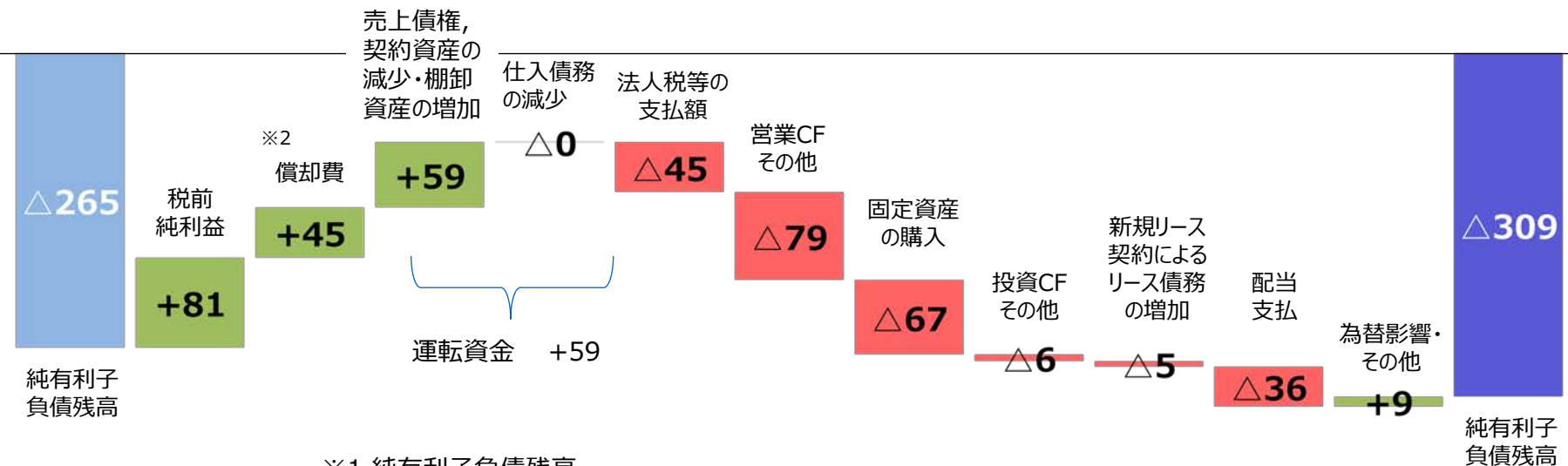
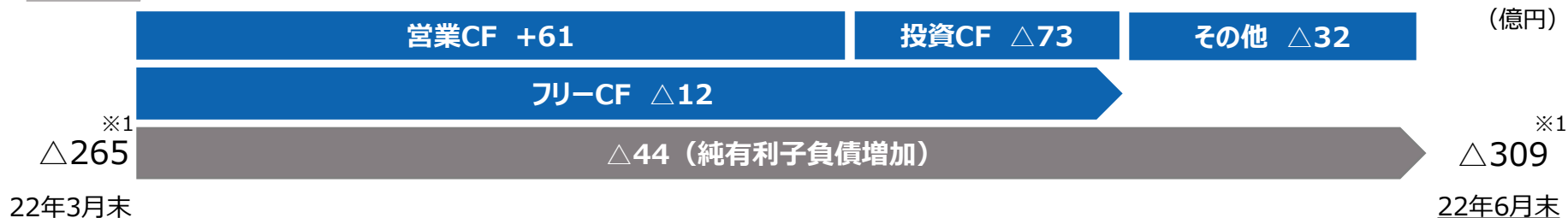
※ 全社費用およびセグメント間取引消去を含む（22年度1Q：▲6.1億円、23年度1Q：▲15.9億円）

現預金・有利子負債残高

(億円)



2022年度1Q連結キャッシュ・フロー（CF）の分析



※1 純有利子負債残高

※2 減価償却費+のれん償却額

2023年度第1四半期の取り組み状況

連結営業利益：期初想定との差異、今後の見通しと対策

	期初想定	期初想定との差異	今後の見通しと対策
①新型コロナウイルス 関連	一定の需要が定着	PCR・エスプライン需要が下回る (抗原定量は想定範囲内)	<ul style="list-style-type: none"> ・抗原定量需要の積極的な取り込み ・エスプラインの行政等への販売強化
②ベース (検査数)	<ul style="list-style-type: none"> ・徐々に回復 ・下期以降正常化 	回復速度に遅れ	下期以降正常化を見込むが、状況の注視が必要
③あきる野セントラルラボ ラトリーにおける一般 検査のオペレーション	6月以降自動搬送ラインは フル稼働	7月に入り、検体受付業務の遅 延および検査工程上の一時的 な不具合が発生	<ul style="list-style-type: none"> ・自動搬送ラインのフル稼働遅れ ・対応コストの発生
④収益性改善 (固定費改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・上期は限定的 ・下期中心に発現 	③の不具合への対応を優先	各施策の確実な実行を目指す
⑤CDMO	安定的な成長・事業の拡大	既存項目：パートナーからのオー ダーの期ズレ	既存項目：通期ではリカバリーの見通し 新規プロジェクト：下期から出荷開始（一部 前倒し）

H.U. Bioness Complex関連費用・発現効果の状況

一般検査における一部の検査結果報告遅延への対応により費用増と発現効果縮小の可能性はあるものの、業績への影響は精査中

	期初年間想定	23年度1Q実績	現時点での見込み
コスト	一時費用	▲10億円	▲5億円
	減価償却費	▲61億円	▲12億円
	ランニングコスト※	▲59億円	▲12億円
	コスト合計	▲130億円	▲29億円
効果	効率化効果	+23億	—
			<p>一般検査における一部の検査結果報告遅延への対応コストが発生</p> <p>フル稼働の遅れにより期初想定を下回る可能性</p> <p>エネルギーコストの上昇リスクはあるが一定を想定</p> <p>発現効果縮小の可能性あり</p>

※ 賃料を含む

社外からの評価およびイニシアチブへの参加

DX銘柄2023に選定



DX銘柄2023
Digital Transformation

以下の構成銘柄^{※1}に選定

- FTSE4Good Index Series (初)
- FTSE Blossom Japan Index (初)
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index (2年連続)



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

MSCI ESG格付けにおいて
最上位ランク“AAA”を
2年連続で獲得^{※2}

MSCI
ESG RATINGS



CCC B BB BBB A AA AAA

グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund^{※3}）へ参画

パートナーシップで感染症と闘う



Global Health Innovative Technology Fund

^{※1} FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここにH.U.グループホールディングス株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

^{※2} H.U.グループホールディングス株式会社によるMSCI ESG Research LLCまたはその関連会社 ("MSCI") のデータの使用、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIによるH.U.グループホールディングス株式会社の後援、承認、推薦、または宣伝を意味するものではありません。MSCIのサービスおよびデータはMSCIまたはその情報提供者の所有物であり、「現状のまま」提供され、保証はありません。MSCIの名称およびロゴは、MSCIの商標またはサービスマークです。

^{※3} Global Health Innovative Technology Fund

【連絡先】

H.U.グループホールディングス株式会社

IR/SR部 ir@hugp.com

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。